学校番号	1004

令和８年度　理科

教科	理科	科目	地学概論	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	啓林館「地学　改訂版」（地学 303）						
副教材等	啓林館「センサー　地学」						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てる」小・中学校での理科の学習を終えて、人と自然について「時間」、「空間」、「多様性」という3つの視点を見ると、どのように見えてくるのか？自然と生物の関係を学び、人間が進むべき方向を、考え続けてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を養い、思考する。
【学びに向かう力、人間性等】
地学的な事物・現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，地学的に探究する能力と態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。また、観察・実験等を行い、基本的操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確の記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第1部 固体地球の概観と活動(20) より	第１章 地球の概観 第１節 地球の観測 第２節 重力で探る地球の内部 第３節 地震波で探る地球の内部 第４節 熱で探る地球の内部 第５節 地磁気で探る地球の内部	a:地球の概観の歴史的変化が理解できる b:内部探査の方法が理解でき、調査結果から、様々な事実を見出し、災害に対する提言ができる c:地球が支えることのできる生命量の考察ができる	定期考査	定期考査 課題提出	実験レポート提出 課題提出
	第2部 地球の歴史(5) より	第１章 地表の変化と地層 第１節 地表の変化と堆積物 第２節 地層の連続とその分布 第３節 地質時代の組み立て	a:地表変化の原因と経過が理解できる b:層序から地質時代の組み立てが理解でき、今後の姿を説明できる。 c:地質情報～資源の活用が考察できる	定期考査	定期考査 課題提出	
2	第3部 大気と海洋(15) より	第１章 大気の構造 第１節 大気圏 第２節 雨と雲 第３節 地球のエネルギー収支 第２章 大気の運動 第１節 風 第２節 大気の大循環と世界の気象 第３節 偏西風帯に位置する日本の四季 第３章 海洋と海水の運動 第１節 海洋 第２節 海水の運動	a:大気、海洋という循環系を理解できる b:時間的変化からの影響の大小を考察できる c:生体系における循環系と比較考察できる	定期考査	定期考査 課題提出	実験レポート提出 課題提出
	第4部 宇宙の構造(15)	第１章 太陽系の天体 第２章 恒星の性質と進化 第３章 銀河系と宇宙	a:惑星地球の特別性が理解できている。 b:太陽系の一般性が理解でき開発可能性を表明できる。 c:宇宙の構造から生命の存在を考察できる	定期考査	定期考査 課題提出	
3	第2部 地球の歴史より(10)	第２章 地球・生命・環境の歴史 第１節 地殻の進化 第２節 生命の進化 第３節 長期の気候変動	a:地球環境の変化が理解できている b:地球環境変化の原因が理解でき生態系への影響を説明できる c:地球環境の変化に対応する方法を考察できる	定期考査	定期考査 課題提出	思考実験レポート提出 課題提出
	第3部 大気と海洋より(10)	第４章気候変動と地球環境 第１節 気候変動 第２節 物質の循環 第３節 人間の活動と地球環境	a:人類誕生以降の変化が理解できる b:人類の環境に対する影響を理解し補完する方法を考察できる c:生物多様性を理解し人類とのかかわり方を考察、表現できる			思考実験レポート提出 課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度